



青山学院

AOYAMAGAKUIN

ニュースリリース

NEWS RELEASE

2008年2月1日

青山学院では「新ガウチャー・ホール」(1906年)の遺構が発掘され、2月5日に現地見学会を行います

青山キャンパス再開発の一環として、「大学A棟」(仮称)の建築計画を進めております。場所は、大学テニスコート周辺の敷地を予定しており、着工に先立ち試掘を行った結果、江戸時代の遺構が残されていることが判明し、本調査をすることになりました。

調査の結果、江戸時代の松平左京太夫屋敷内の建物の柱跡と思われる遺構のほか、明治時代の「新ガウチャー・ホール」(1906 <明治 39>年建設)のレンガ積みの基礎が発掘されました。

青山キャンパスの土地購入資金や校舎建設資金などのために、多額の寄付をしてくださったジョン・F・ガウチャー博士の名前を冠しています。

設計は、現在の日本聖公会聖アグネス教会(京都市)や遺愛学院本館(函館市)を手がけたアメリカ人のJ.M.ガーディナーによるもので、新古典主義様式のシンメトリーの建築物となっています。

現在、全体の1/2が発掘されました。残りの1/2は記念館の地下に位置しているため、遺構は残っていないと考えられます。

このたび、下記の日程で現地見学会を開催いたすことに決定いたしました。



【現地見学会】

日時：2月5日(火)14時から30分を予定

場所：青山キャンパス 大学テニスコート跡地(記念館横)

説明：清水信行 大学文学部史学科教授

取材ご希望の場合は下記宛て(本部広報室)にご連絡ください。

車輜でお越しの場合は、その旨ご連絡ください。

2008年4月に総合文化政策学部、社会情報学部を新たに設置いたします。また、青山学院は今年で創立133年を迎えました。幼稚園から大学、大学院まで在校生25,292名を擁する総合学園です。青山学院サイト<http://www.aoyamagakuin.jp/>

青山学院スクール・モットー 地の塩・世の光